

ななかまど

一般社団法人 猿払ななかまどの会 会報

令和3年1月1日(金)

第30号

発行：一般社団法人

猿払ななかまどの会 事務局

ななかまどの会は障がい者の社会参加を応援している公益法人です。

新年明けましておめでとうございます

今年もどうぞよろしく申し上げます



新型コロナウイルスに翻弄された2020年を終え、2021年(令和3年)新春を迎えました。みなさんきっと静かなお正月をお迎えのこととお喜び申し上げます。

早くコロナウィルスから開放され日常生活がもとに戻って欲しいと思いますが、ここに来てイギリスから「変異種」のコロナウィルスが日本に上陸してしまいました。これまでのウィルスより感染率が1.7倍強いそうです。北海道は昨年11月7日に自粛要請がでてからようやく小康状態になってきました。宗谷管内もピタッと感染が止まりましたし、猿払村は未だ発症者は0です。感染者の出ている所に住んでいる人よりは気が楽ですが、それでも通院や仕事でどうしても出かきなきゃならない人もいますし、学生の帰省も考えられます。若い人には症状が出ず、感染しているかどうか分からない人が大勢います。どこでうつるのか分からないのがこのコロナウィルスです。症状の出ない若い人はさほど影響はないのですが、高齢者、特に基礎疾患の持っている高齢者は重症化する確率がずいぶん高いそうです。出来るだけ人との接触は避け、手洗い・消毒の励行、換気、三密の回避、マスクの着用等々、ずいぶん日常生活を送る上では不自由ですが、ワクチン供給開始まであと半年頑張りましょう。

全日本柔道や全日本バドミントン、全日本体操などの大会がコロナ対応の中開催されました。コロナ対策をとった上での「2020オリンピック」、7月24日開会式が無事に開かれることを楽しみにしましょう。

どうぞ今年も一般社団法人猿払ななかまどの会への支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

1月のパンの予約開始は
1月12日(火曜日)までの予約で
15日(金曜日)配達となります。

ご利用よろしくお願いいたします。

パンの収益は放課後塾の運営費、障がい者の賃金、会の運営費等全て障がい者支援のために使われています。



障がい者雇用を考える③

先月号では、就労のために身に付けておかなければならない「スキル」についてお話ししました。

1 番目は何といっても「返事」と「挨拶」。

2 番目は、場面にあった話し方、正しい言葉遣い、態度。

3 番目は、困ったことがあったりわからないことがあったりしたら「人に聞くことができる」こと、この3つは主に表面的なものです。最近は店員の中でもできない人が多くなっているような気がします。

今回はこの3つ以上に必要になってくる「先を見通す力」についてお話しします。

「先を見通す力」とは、料理をする時のことを思い出すとよく分かります。カレーライスを作るとします。まず考えなければならないのは量です。何人前を作るか？そのための材料をどのくらい用意するか？と、次々と見通しを立てないと料理は進みません。これをした後はこれだからこれを用意しておくという見通しは健常者は経験と共に学びますが、障がい者、特に知的障がい者はそうはいきません。訓練が必要です。

以前、不登校の子どもをななかまどの会でお世話したことがあります。週一回一緒にパンを焼くだけのことでしたが、最初にパンを焼くまでの順序を覚え、段取りを理解し、自分でパンを成形し、最後は「自分で焼いたパンを友達に食べさせてあげたい」と人数分焼き上げるまでになりました。何より成長に驚いたのは、一つの行程が終わると同時に次の段取りを指示されなくてもすぐに用意することでした。健常者でも「指示待ち人間」が多い中、パン作りを通して「先を見通す力」を獲得したのでした。そのことで自信をつけた彼女は無事不登校も克服し高校に見事合格しました。

高等養護学校では様々な授業や実習を通してこの「先を見通す力」も訓練します。

さて、高等養護学校は別として、発達障がいや心に弱さを持つ人が「スキル」を身につけたからといってすぐに一般就労が出来るとは限りません。どんな仕事につきたいか、週五日働きたいのか、職場の雰囲気はどうか？などの相談や、就職しても仕事を覚えるまでの支援など様々な条件をコーディネートしたりケアする人が必要です。猿払村では今のところ行政しかありません。

一言で「障がい者雇用を考える」といっても課題山積です。ななかまどの会が少しでも社会参加をためらっている人たちの力になれるようにこれからも活動を続けていきます。

- 就学で普通学級か特別支援学級か迷っている
 - 子どもが落ち着き無くて困っている
 - 子どもが不登校になった
 - 勉強についていけない、学力が上がらない
- 等々、子どもについてのお悩みや、社会に出ることにためらいのある方々の話をお聞きします。

お気軽にお電話下さい。090-1647-6061 (庄崎)

一般社団法人猿払ななかまどの会では

**教育相談、悩み相談
はじめました。**



猿払村文化祭展示から～

ななかまどの会にも「アトリエ」が欲しい